

# 2024年度決算説明資料

2025年5月9日

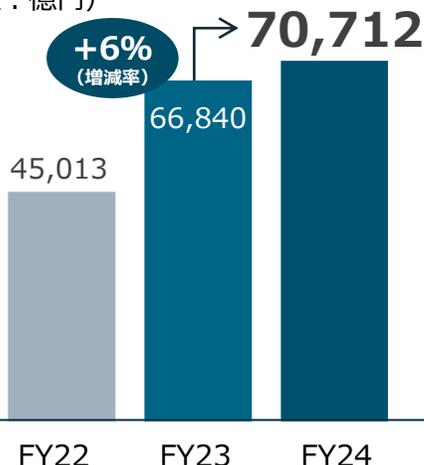
三菱重工業株式会社

<b>1. 決算のポイント</b>	<b>3-8</b>
<b>2. 2024年度決算実績</b>	<b>9-20</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>• 連結経営成績サマリー</li><li>• 連結財政状態、主要財務指標、キャッシュ・フロー</li><li>• 事業利益増減分析</li><li>• セグメント情報</li></ul>	
<b>3. 2025年度業績見通し</b>	<b>21-28</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>• 業績見通しサマリー、ハイライト</li><li>• 事業利益増減分析</li><li>• 財務指標の推移</li><li>• セグメント情報</li></ul>	
<b>4. 補足資料</b>	<b>29-34</b>

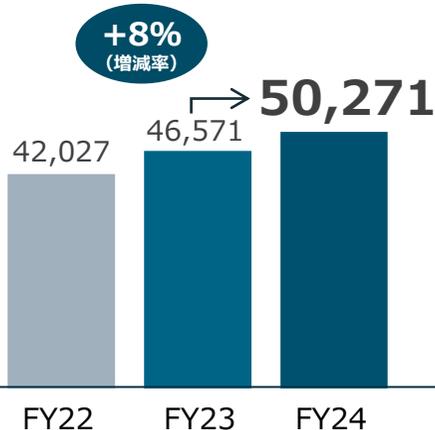
# 1. 決算のポイント

## 受注高

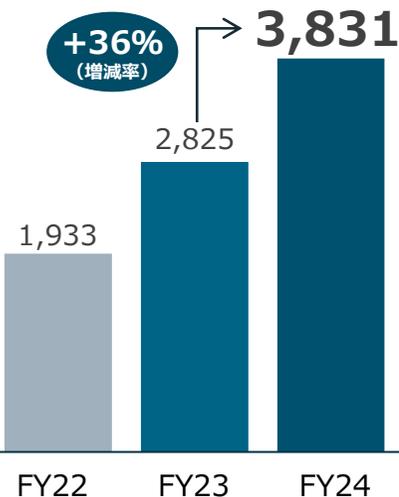
(単位：億円)



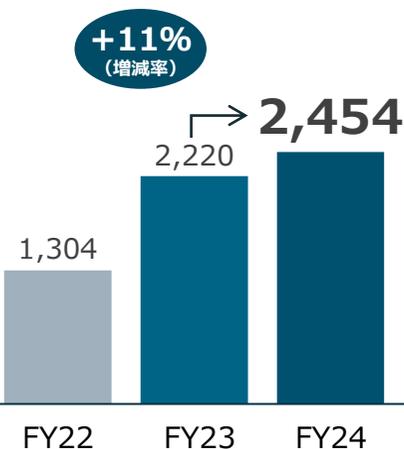
## 売上収益



## 事業利益



## 当期利益 (親会社所有者帰属)



## EBITDA

**5,413**  
億円  
(YoY +1,087億円)

EBITDAマージン  
10.8%  
(YoY +1.5 pts)

## フリーCF

**3,427**  
億円  
(YoY +1,426億円)

営業CF  
5,304億円  
(YoY +1,992億円)

## 有利子負債

**6,513**  
億円  
(YoY △ 775億円)

純有利子負債  
△64億円  
(YoY △3,041億円)

## ROE

**10.7%**  
(YoY △0.4 pts)

## 配当

**23円/株**  
(YoY +3円/株)  
DOE 4.28%

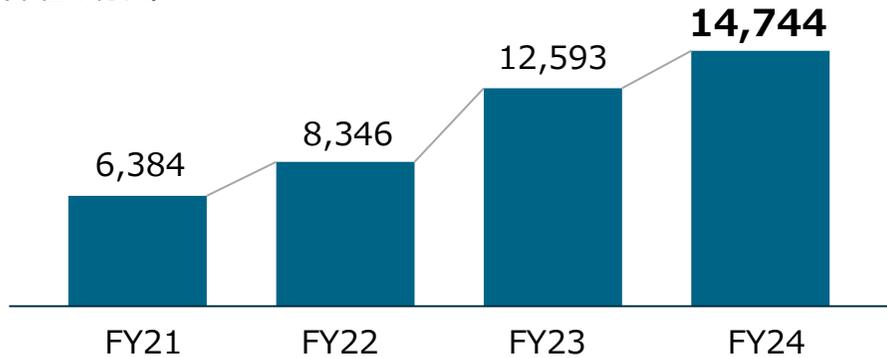
(※1) 2024年4月1日付の株式分割 (10分割) を踏まえ、前年度の配当を当該株式分割実施後の額に換算して比較。

- **受注高、売上収益、当期利益及びフリー・キャッシュ・フローは、過去最高となった**
- **受注高：70,712億円**（前年度比：+3,872億円）  
全セグメントにおいて前年度実績を上回る。  
主な事業別では、GTCCと製鉄機械が受注を伸ばした
- **売上収益：50,271億円**（前年度比：+3,700億円）  
エネルギー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年度実績を上回る。  
特に防衛・宇宙が、航空機・飛昇体を中心に売上収益を大きく伸ばした
- **事業利益：3,831億円**（前年度比：+1,006億円）  
エネルギー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年度実績を上回る。  
売上増・利益率改善、為替円安影響、土地売却等が寄与し、事業利益は前年度比36%増の3,831億円となった
- **当期利益：2,454億円**（前年度比：+234億円）  
事業利益の増加にともない前年度比11%増の2,454億円となった
- フリー・キャッシュ・フローは、前年度比1,426億円増の3,427億円となった。  
営業キャッシュ・フローは5,304億円、投資キャッシュ・フローは△1,877億円となった
- 配当は、従前公表の一株当たり22円から1円を上乗せした一株当たり23円を予定する。  
前年度比3円の増配

- 石炭火力からの転換、再エネの負荷変動吸収の役割に加え、電力需要自体の伸長も見込まれ、市場拡大
- 大型ガスタービンを25台受注。受注高は、過去最高だった前年度を更に上回った
- 本体受注時に長期アフターサービス契約を締結するケースも多く、将来の売上収益を確保
- ガスタービン主要部品の増産体制を構築中

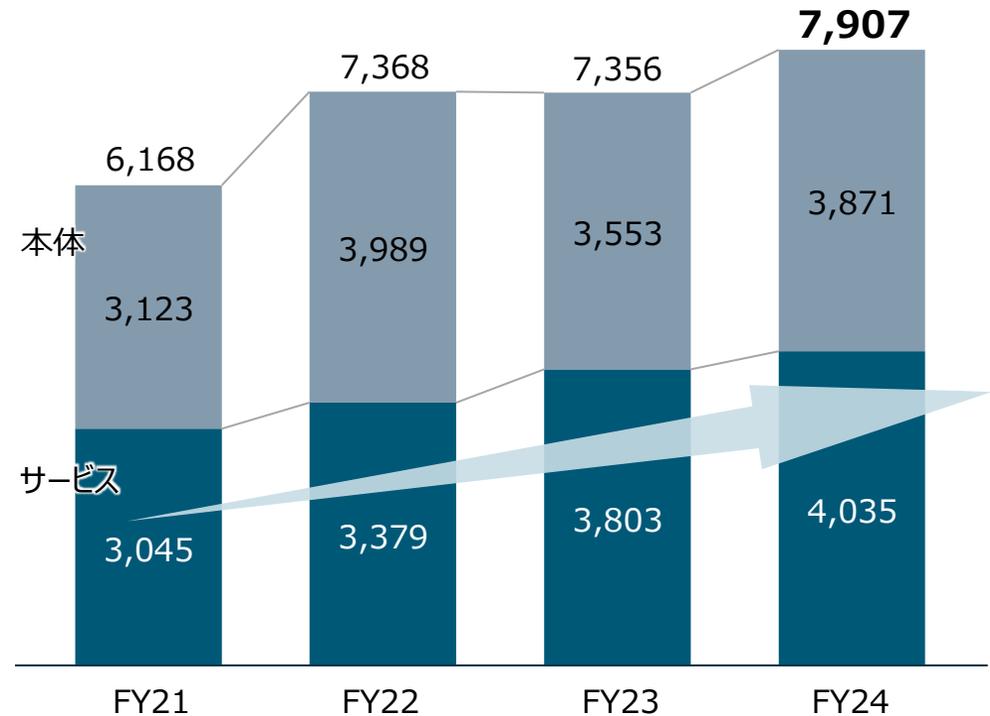
## 受注高

(単位：億円)



## 売上収益

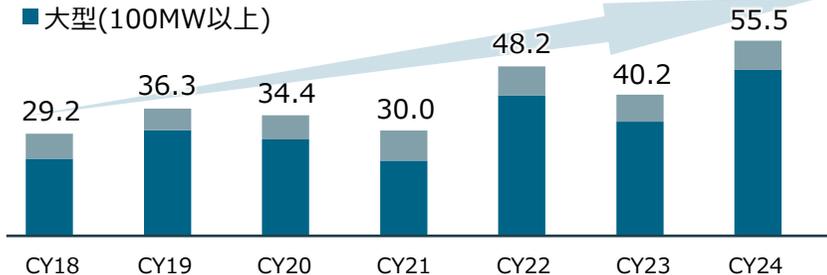
(単位：億円)



## ガスタービンの需要\*

(単位：GW)

■ 大型(100MW以上)

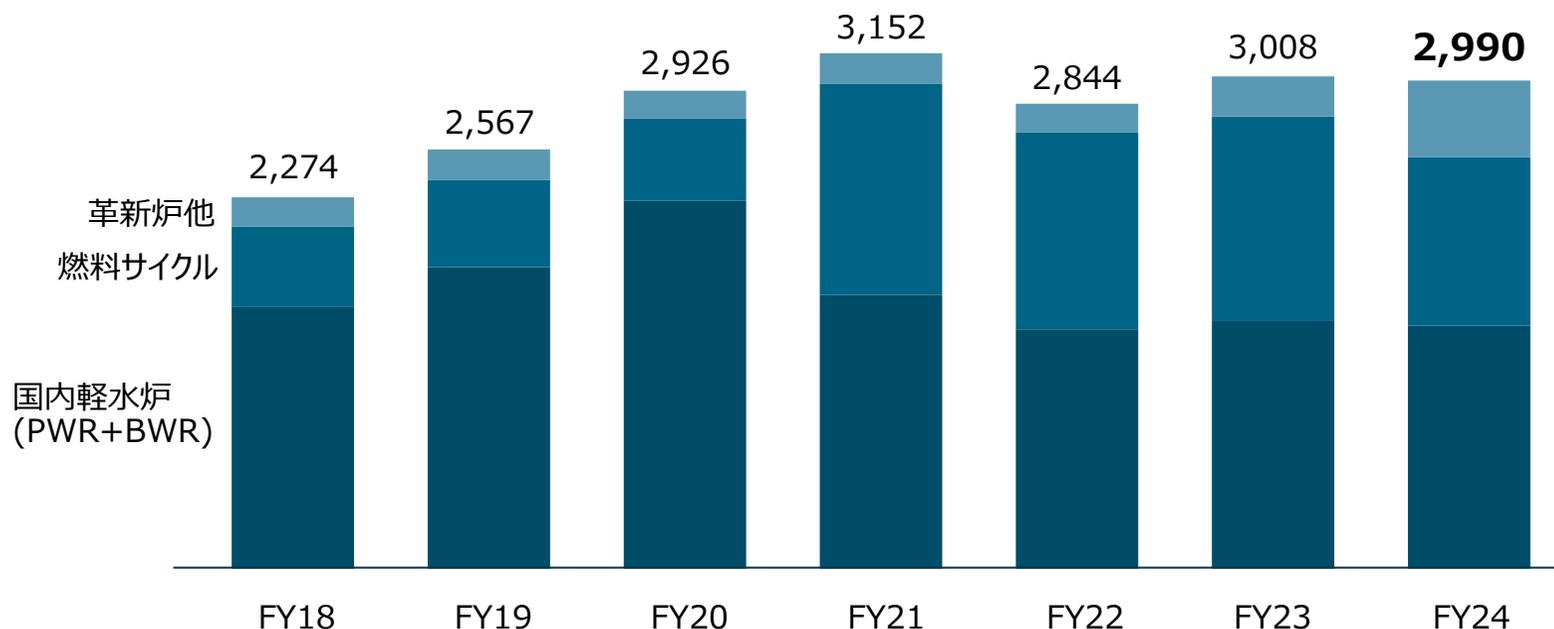


\*全容量帯、ただし機械駆動用を除く

(出典：McCoy Power Report)

- 国内軽水炉の再稼働・特重施設※<sup>1</sup>設置、燃料サイクル施設の竣工に向けた対応を着実に推進し、事業規模は拡大基調
- PWR※<sup>2</sup>は再稼働後の保全工事等を推進
- BWR※<sup>3</sup>プラントの再稼働・特重施設設置工事についても、当社工事範囲が拡大し、売上が増加
- 高速炉・高温ガス炉実証炉開発の中核企業に当社が選定され、今後、開発・設計が本格化

## 売上収益

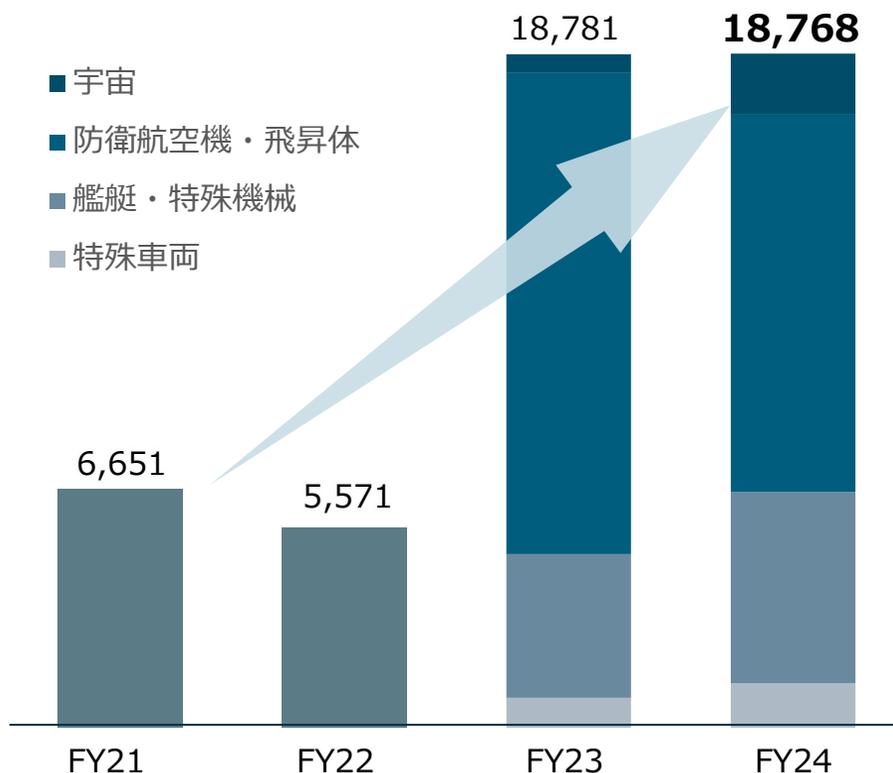


※<sup>1</sup> 特重施設（特定重大事故等対処施設）：プラントとは完全に独立し、航空機衝突やテロ等の際に安全に運転停止できる大規模施設  
 ※<sup>2</sup> PWR（Pressurized Water Reactor）：加圧水型原子炉 ※<sup>3</sup> BWR（Boiling Water Reactor）：沸騰水型原子炉

- 防空ミサイルシステム関連をはじめとした複数の大型案件を受注。過去最高となった前年度並みの受注高となった
- 前年度からの受注増加にともない、航空機・飛昇体、艦艇・特殊機械を中心に売上も大幅に増加

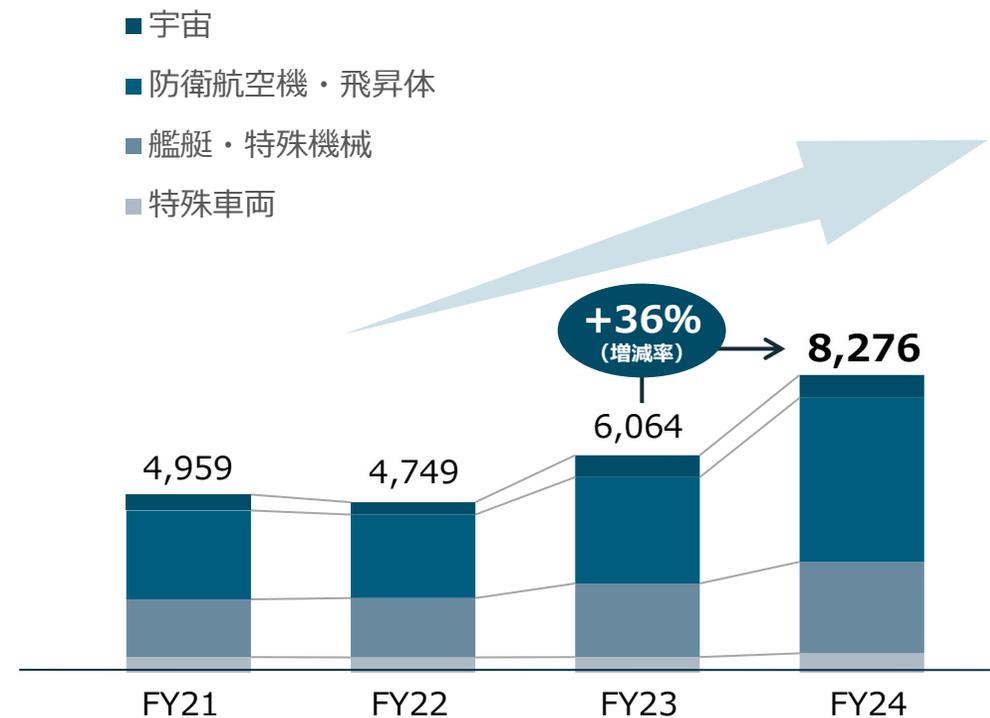
## 受注高

(単位：億円)



## 売上収益

(単位：億円)

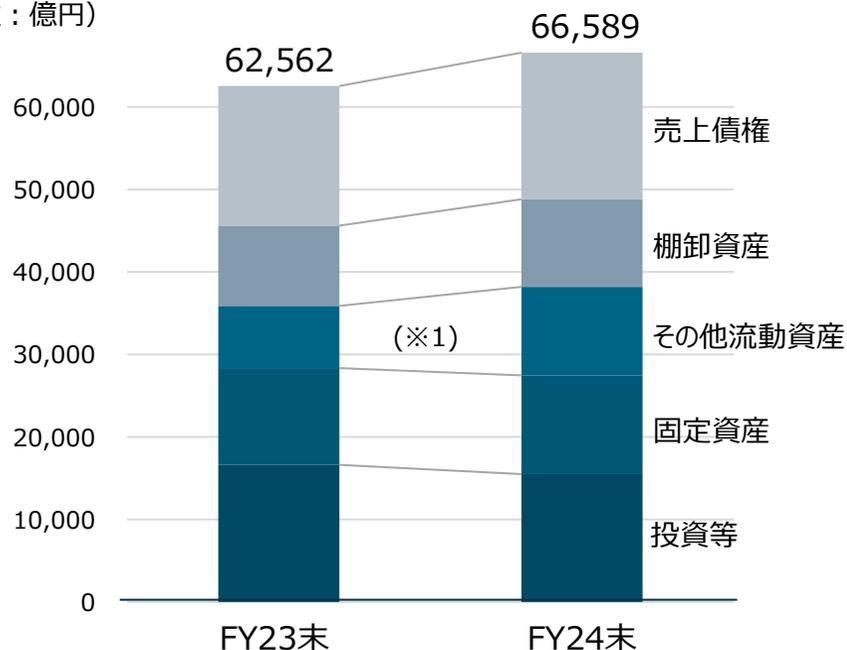


## 2. 2024年度決算実績

(単位：億円)	FY2023 (利益率)	FY2024 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	66,840	70,712	+3,872	(+5.8%)
売上収益	46,571	50,271	+3,700	(+7.9%)
事業利益	2,825 (6.1%)	3,831 (7.6%)	+1,006 (+1.5 pts)	(+35.6%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,220 (4.8%)	2,454 (4.9%)	+234 (+0.1 pts)	(+10.6%)
ROE	11.1%	10.7%	△0.4 pts	
EBITDA	4,326 (9.3%)	5,413 (10.8%)	+1,087 (+1.5 pts)	(+25.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	2,001	3,427	+1,426	

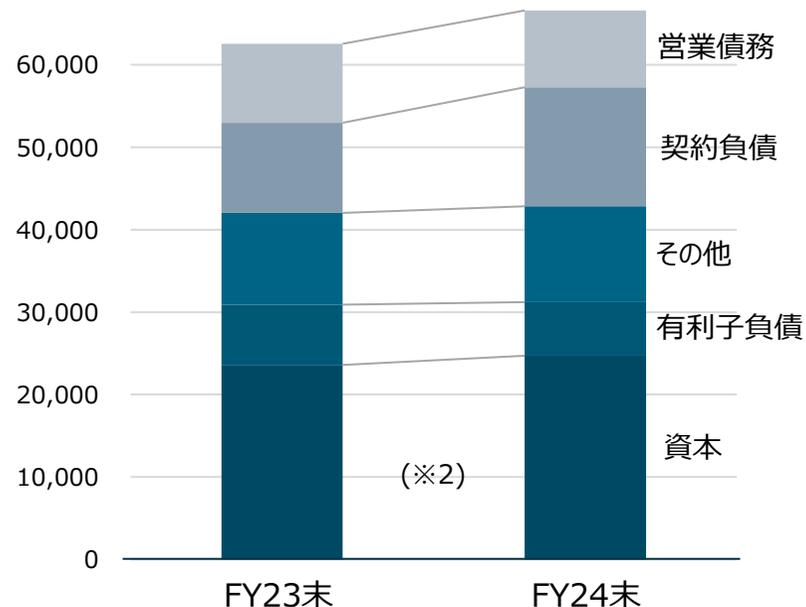
## 資産

(単位：億円)



## 負債・資本

(単位：億円)



- 総資産は、事業規模の拡大にともなう売上債権・棚卸資産の増加に加え、前受金の獲得等により現金及び現金同等物が増加したことで、前年度末から増加
- 有利子負債は前年度から10%超減少。D/Eレシオは0.26に低下

主な内訳 (単位：億円)

(※1) 現金及び現金同等物+2,265

(※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益+2,454、配当金△773、その他△590

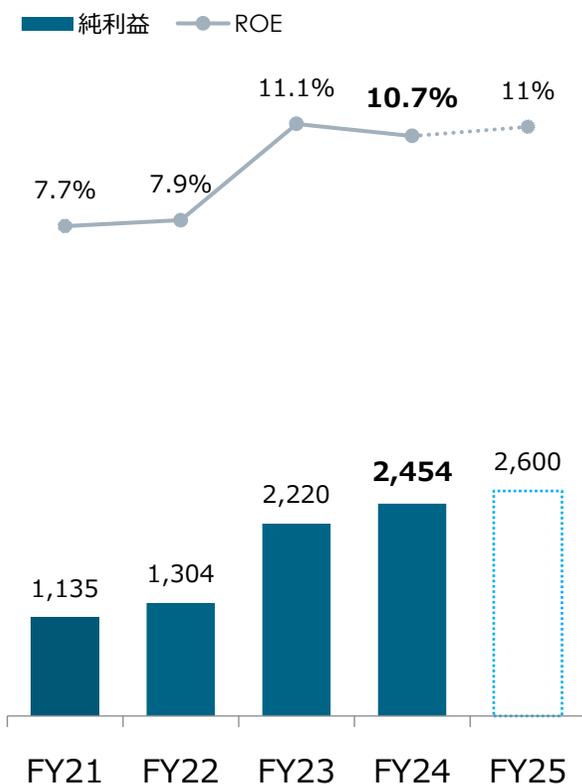
	FY23末	FY24末	増減
有利子負債残高(億円)	7,289	6,513	△775
自己資本比率	35.9%	35.2%	△0.7pts
D/Eレシオ	0.31	0.26	△0.05

(単位：億円)	FY23末	FY24末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）	16,924	17,765	+841
棚卸資産	9,745	10,625	+879
その他流動資産	7,529	10,725	+3,195
（うち現金及び現金同等物）	(4,312)	(6,578)	(+2,265)
固定資産	11,747	11,953	+205
投資等	16,615	15,519	△1,096
<b>資産合計</b>	<b>62,562</b>	<b>66,589</b>	<b>+4,026</b>

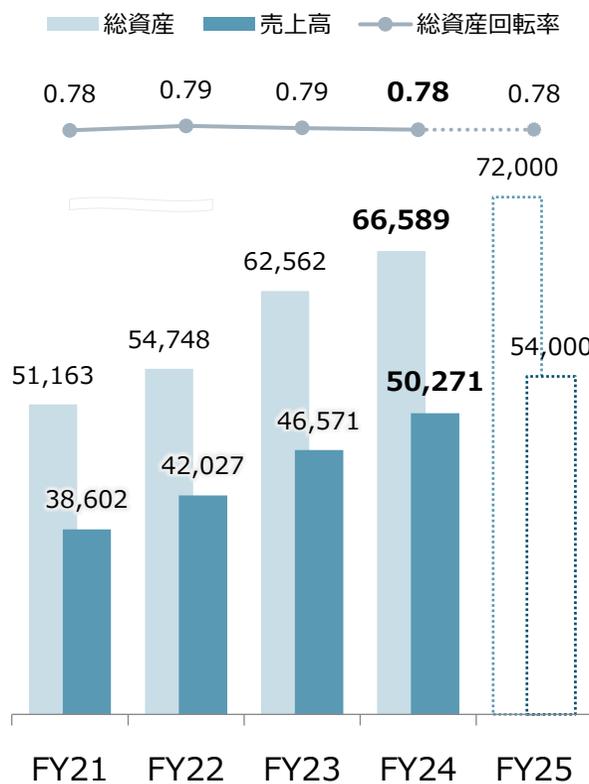
営業債務	9,588	9,302	△286
契約負債	10,951	14,439	+3,488
その他	11,125	11,634	+508
有利子負債	7,289	6,513	△775
資本	23,606	24,698	+1,091
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(22,446)	(23,467)	(+1,020)
<b>負債及び資本合計</b>	<b>62,562</b>	<b>66,589</b>	<b>+4,026</b>

- ROEと総資産回転率は概ね前年度と同水準
- Debt/EBITDA倍率は過去最低水準となる1.2倍まで低下。有利子負債の縮減に加え、EBITDAの改善が寄与

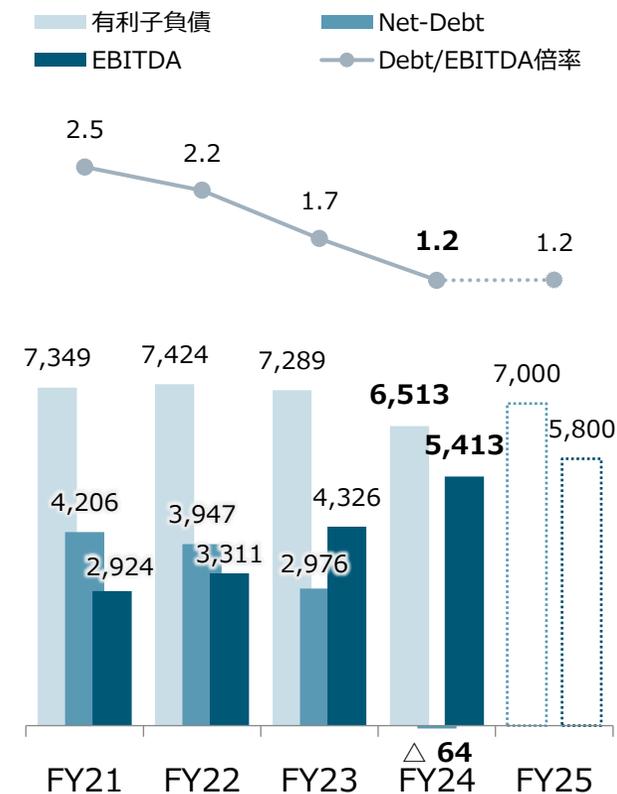
## ROE (単位：億円)



## 総資産回転率 (単位：億円)

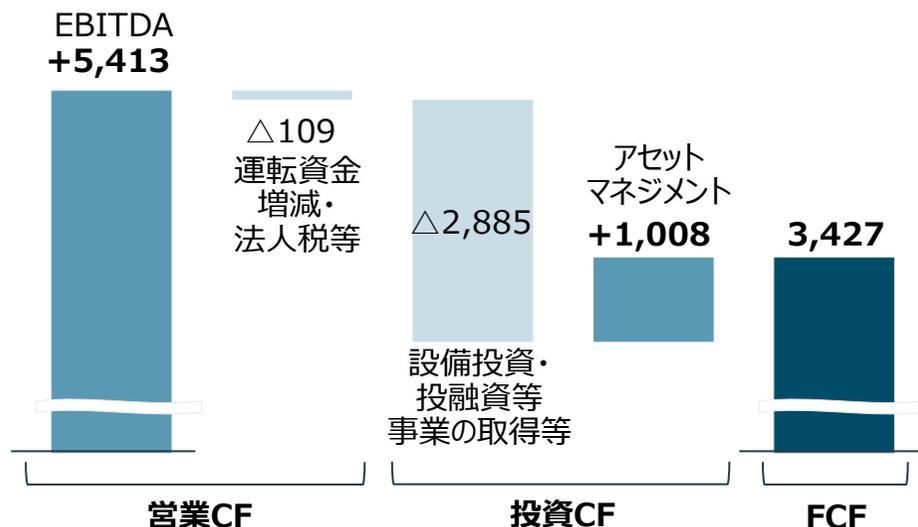


## Debt/EBITDA倍率 (単位：億円)



## フリー・キャッシュ・フロー

(単位：億円)



### 営業キャッシュ・フロー

- EBITDA 5,413億円に加え、多額の前受金獲得により、営業キャッシュ・フローは5,304億円となった

### 投資キャッシュ・フロー

- 設備投資・投融資等は、田町タワー取得費支払い、発電事業会社（SPC）持ち分追加取得により昨年度から増加
- 不動産ならびに政策保有株式の売却を継続

(単位：億円)

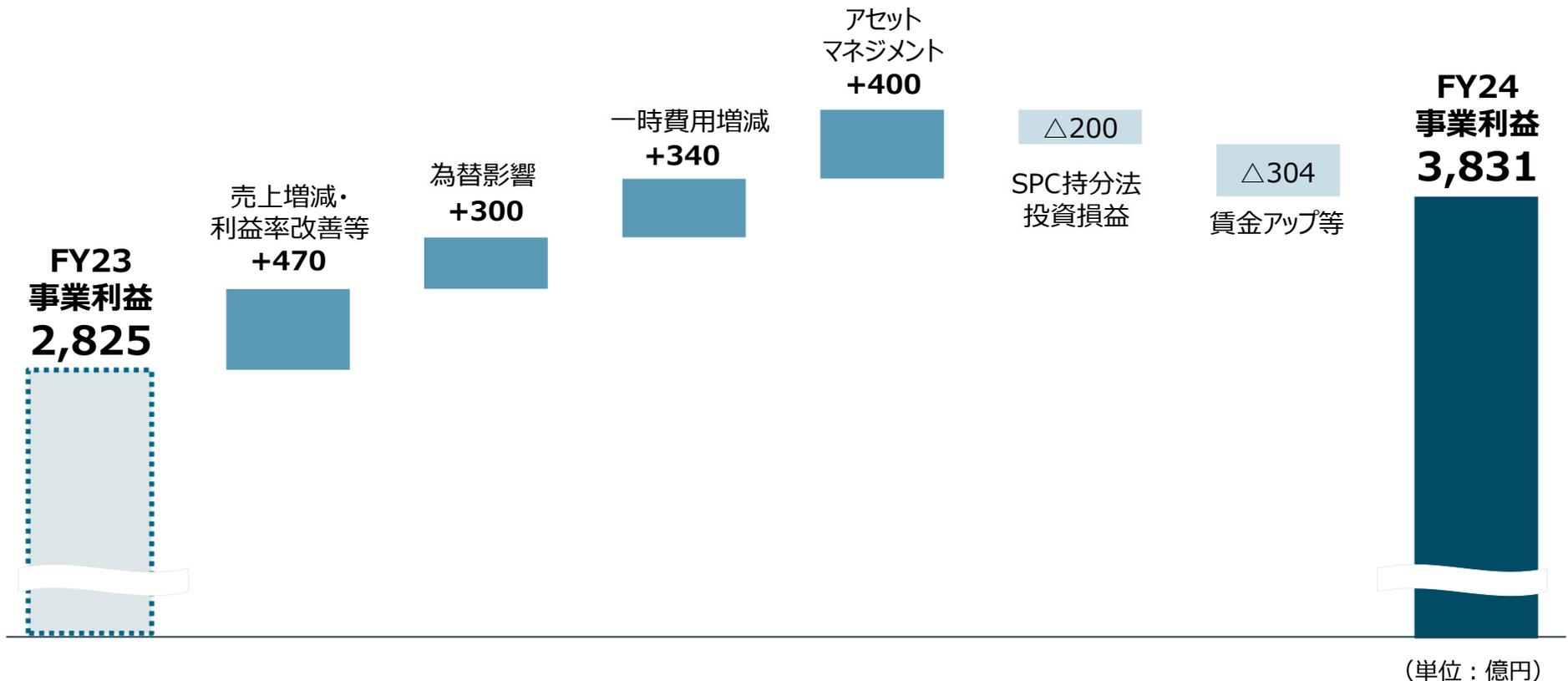
	FY23	FY24	増減
営業キャッシュ・フロー	3,311	5,304	+1,992
投資キャッシュ・フロー	△1,310	△1,877	△566
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>2,001</b>	<b>3,427</b>	<b>+1,426</b>
減価償却費	1,501	1,581	+80
EBITDA	4,326	5,413	+1,087
EBITDA (%)	9.3%	10.8%	+1.5pts

### 投資CFの主な内訳 (単位：億円)

設備投資・投融資等	△1,723	△3,045	△1,322
事業の取得	△735	△15	+720
不動産等の売却	+372	+764	+392
政策保有株式売却	+562	+244	△317
その他	+214	+174	△40
<b>合計</b>	<b>△1,310</b>	<b>△1,877</b>	<b>△566</b>

# 事業利益増減分析

- エナジー、防衛・宇宙を中心とした売上増加や、利益率改善で増益
- 前年度に計上した航空エンジン事業及び火力事業海外工事案件での一時費用のリバウンドに加え、横浜本牧工場の一部土地売却も増益に貢献



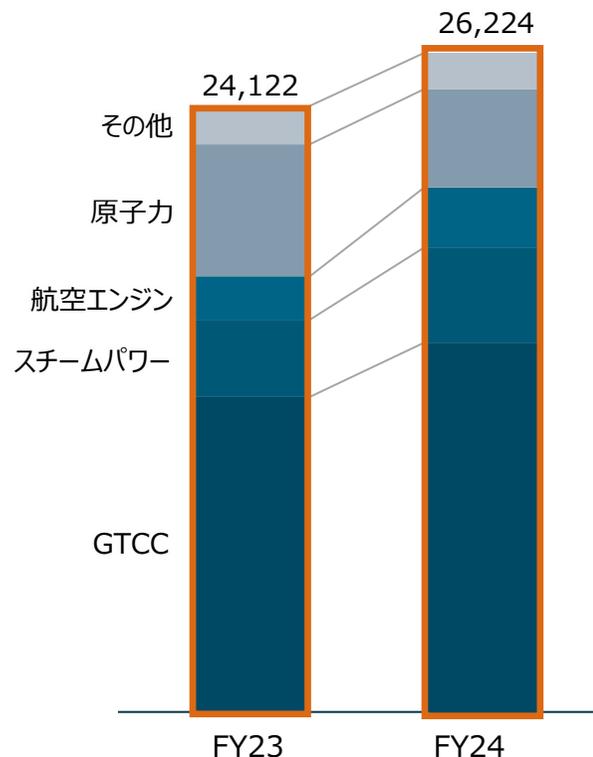
	受注高			売上収益			事業利益		
	(※1) FY23	FY24	増減	(※1) FY23	FY24	増減	(※1) FY23	FY24	増減
(単位：億円)									
エネルギー	24,122	26,224	+2,102	17,236	18,157	+921	1,498	2,053	+554
プラント・インフラ	8,831	10,002	+1,170	8,332	8,521	+188	447	596	+148
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,186	13,305	+118	13,145	13,071	△74	728	493	△234
航空・防衛・宇宙	20,687	21,001	+314	7,915	10,306	+2,390	726	999	+272
その他及び 全社又は消去	12	179	+166	△58	215	+273	△575	△310	+264
合計	66,840	70,712	+3,872	46,571	50,271	+3,700	2,825	3,831	+1,006

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

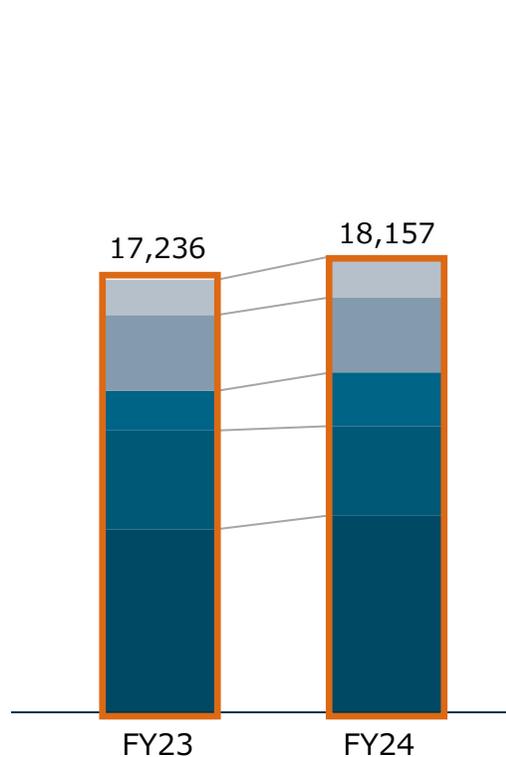
# セグメント別決算実績 <エナジー>

(単位：億円)

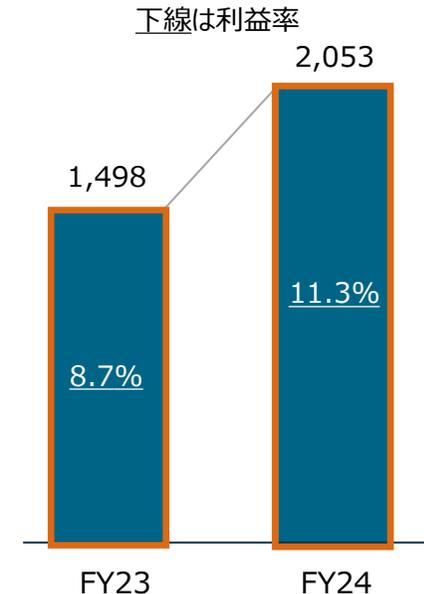
## 受注高<sup>(※1)</sup>



## 売上収益<sup>(※1)</sup>



## 事業利益<sup>(※1)</sup>



### 前年度比

増益：  
 ・GTCC  
 ・航空エンジン

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

## 受注高

主な事業	受注高	
	2023年度	2024年度
GTCC	12,593	14,744
スチームパワー	3,054	3,764
航空エンジン	1,727	2,376
原子力	5,222	3,908

## 売上収益

	売上収益	
	2023年度	2024年度
	7,356	7,907
	3,898	3,524
	1,574	2,123
	3,008	2,990

## 決算実績のポイント

- GTCCは主に米州、中東で受注が大幅に増加。売上増に加え、採算改善等により増益
- 航空エンジンは売上増に加え前年同期に計上した一時費用のリバウンドにより増益
- 原子力は堅調に推移

# セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>

(単位：億円)

## 受注高<sup>(※1)</sup>

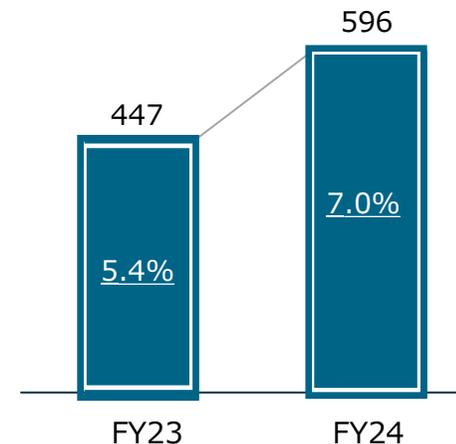
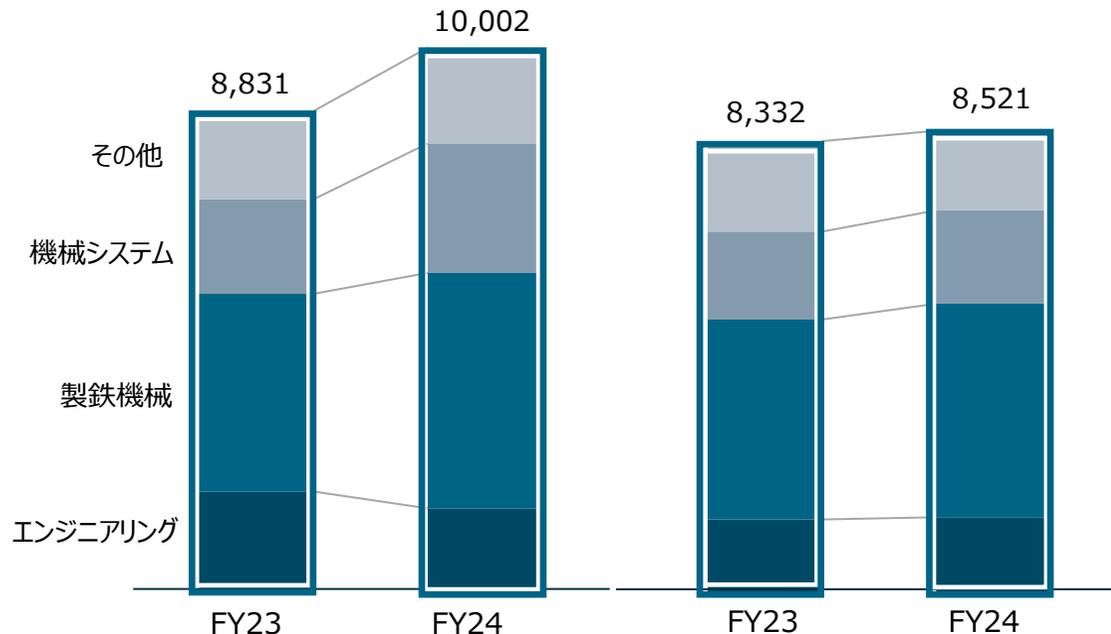
## 売上収益<sup>(※1)</sup>

## 事業利益<sup>(※1)</sup>

下線は利益率

## 前年度比

増益：  
 ・エンジニアリング  
 ・製鉄機械  
 ・機械システム



(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

## 受注高

## 売上収益

主な事業	受注高	
	2023年度	2024年度
エンジニアリング	1,802	1,490
製鉄機械	3,650	4,351
機械システム	1,747	2,390

	売上収益	
	2023年度	2024年度
	1,340	1,378
	3,694	3,952
	1,624	1,723

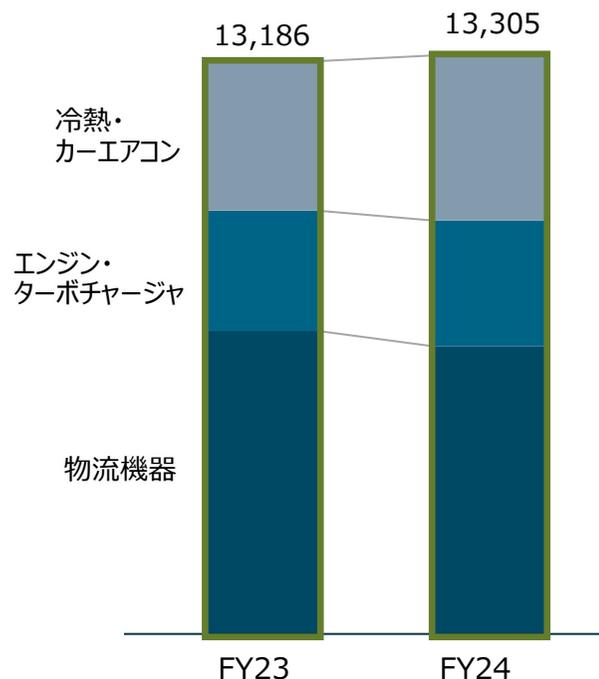
## 決算実績のポイント

- 製鉄機械を中心に受注が堅調
- 製鉄機械は売上増、採算改善等により増収増益
- 機械システムは売上増にともない増益

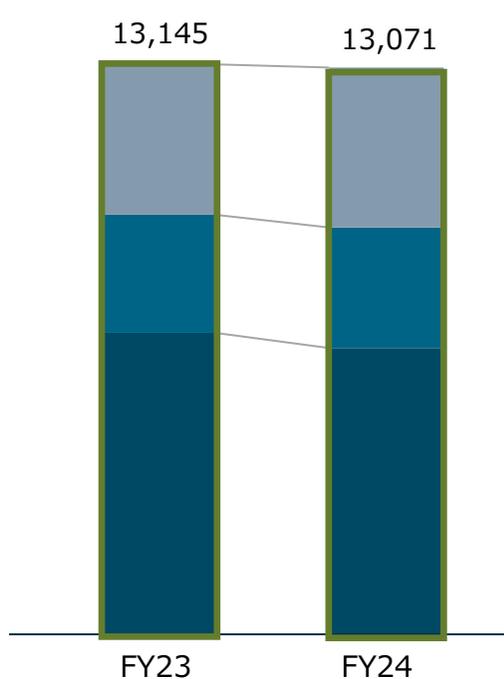
# セグメント別決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>

(単位：億円)

## 受注高

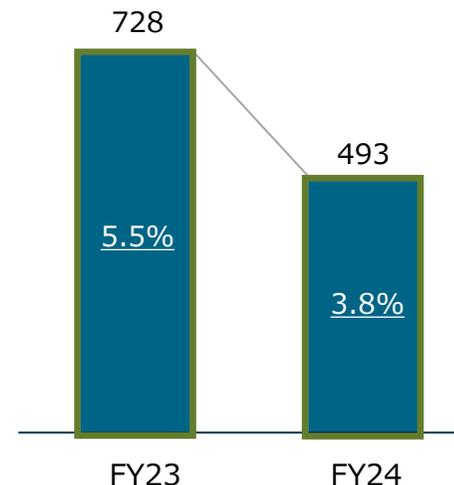


## 売上収益



## 事業利益

下線は利益率



## 前年度比

**増益：**  
・冷熱

**減益：**  
・物流機器  
・ターボチャージャ

## 決算実績のポイント

- 物流機器は販売台数の減少等により減収減益
- エンジンは中国向けを中心に受注が堅調
- ターボチャージャはサプライチェーンの混乱にともなう費用増により減益
- 冷熱は販売台数増等により増収増益

## 受注高

主な事業	受注高	
	2023年度	2024年度
物流機器	7,013	6,660
エンジン・ターボチャージャ	2,786	2,907
冷熱・カーエアコン	3,453	3,818

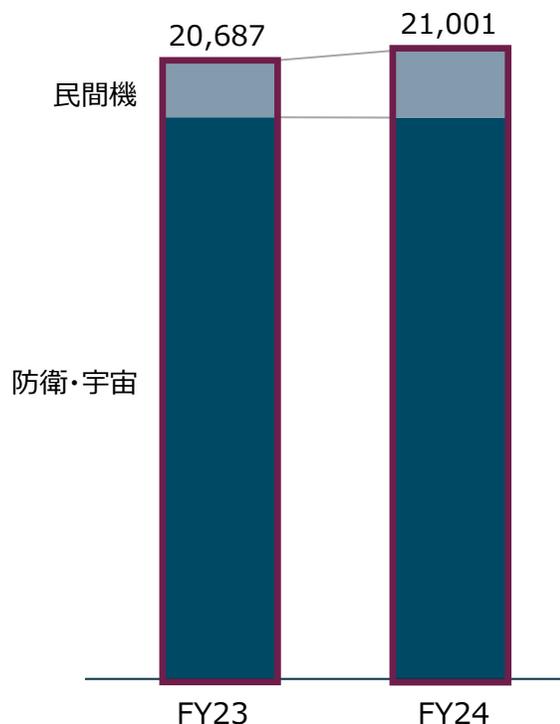
## 売上収益

主な事業	売上収益	
	2023年度	2024年度
物流機器	7,013	6,660
エンジン・ターボチャージャ	2,731	2,791
冷熱・カーエアコン	3,481	3,698

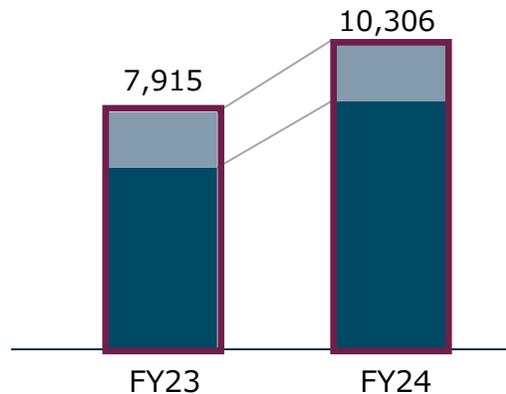
# セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

(単位：億円)

## 受注高

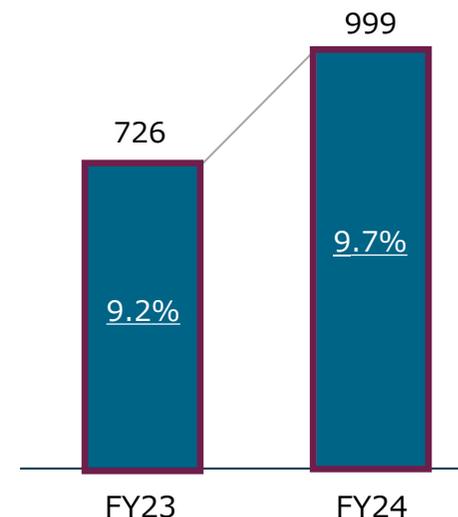


## 売上収益



## 事業利益

下線は利益率



## 前年度比

増益：  
・防衛・宇宙

## 決算実績のポイント

- 防衛・宇宙は、艦艇と宇宙の受注が伸長。順調な工事の進捗、採算改善により増収増益
- 民間機は、777の出荷機数は減少したものの、為替円安影響や北米でのアフターサービス事業の伸長により増収

## 受注高

主な事業	受注高	
	2023年度	2024年度
防衛・宇宙	18,781	18,768
民間機	1,906	2,232

## 売上収益

主な事業	売上収益	
	2023年度	2024年度
防衛・宇宙	6,064	8,276
民間機	1,851	2,030

## 3. 2025年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

なお、今回の業績見通しは、米国関税の影響をアップサイド・ダウンサイドの両面で含んでおりません。

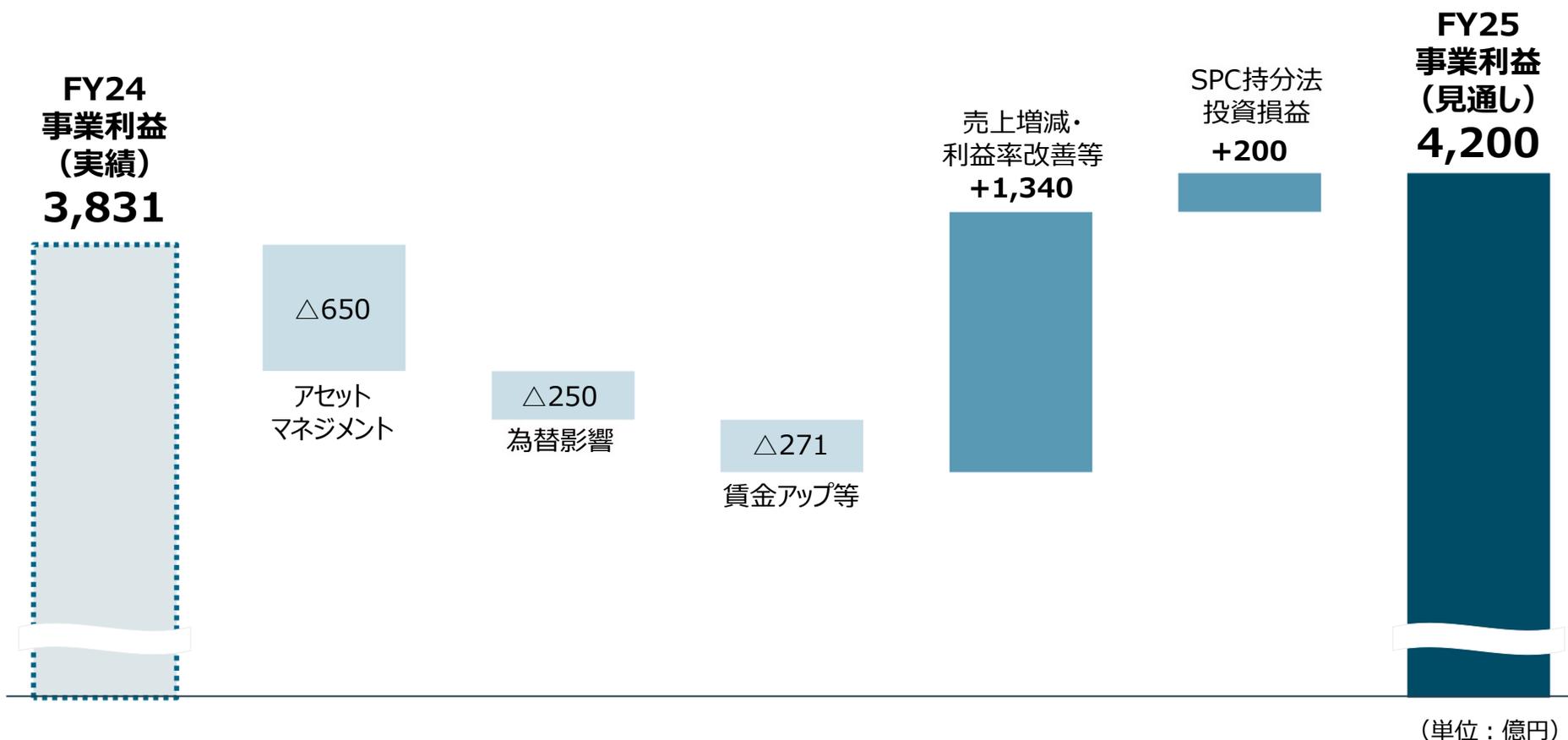
(単位：億円)	2024年度 (利益率)	2025年度 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	70,712	<b>59,000</b>	△11,712	(△16.6%)
売上収益	50,271	<b>54,000</b>	+3,728	(+7.4%)
事業利益	3,831 (7.6%)	<b>4,200</b> (7.8%)	+368 (+0.2 pts)	(+9.6%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,454 (4.9%)	<b>2,600</b> (4.8%)	+145 (△0.1 pts)	(+5.9%)
ROE	10.7%	<b>11%</b>	+0.3 pts	
EBITDA	5,413 (10.8%)	<b>5,800</b> (10.7%)	+386 (△0.1 pts)	(+7.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	3,427	△ <b>2,000</b>	△5,427	
配当	23円 中間11円/期末12円	<b>24円</b> 中間12円/期末12円	前提為替レート： 1ドル=145円、1ユーロ=155円	

- 受注5.9兆円、売上5.4兆円、事業利益4,200億円

	受注高	売上収益	事業利益	主なポイント
エネルギー	2.2兆円	1.85兆円	2,400億円	GTCC・航空エンジンを中心に増収増益
プラント・インフラ	0.9兆円	0.85兆円	600億円	受注・売上・利益とも堅調
物流・冷熱・ ドライブシステム	1.4兆円	1.40兆円	700億円	物流機器・冷熱の販売台数増を見込む
航空・防衛・宇宙	1.4兆円	1.35兆円	1,400億円	好調な受注を背景に、防衛・宇宙の売上が前年度比30%以上増加

- 当期純利益は、事業利益の増加にともない前年度を上回る2,600億円
- 総資産は、事業規模の伸長にともない、前年度比プラス5,411億円の7.2兆円を見込む
- 配当は、前年度の23円から1円を上乗せした1株当たり24円を予定する
- 上記業績見通しは、米国関税の影響をアップサイド・ダウンサイドの両面で含まず

- 前年度の土地売却や為替円安影響の反動、賃金アップを減益要因として織り込み
- エナジー、防衛・宇宙を中心とした売上増加や、利益率改善、SPC持分法投資損益のリバウンドで増益



	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	4.2兆円	4.6兆円	5.0兆円	<b>5.4兆円</b>
事業利益率	4.6%	6.1%	7.6%	<b>7.8%</b>
ROE	7.9%	11.1%	10.7%	<b>11%</b>
総資産	5.5兆円	6.3兆円	6.7兆円	<b>7.2兆円</b>
有利子負債	0.7兆円	0.7兆円	0.7兆円	<b>0.7兆円</b>
資本	1.8兆円	2.4兆円	2.5兆円	<b>2.6兆円</b>
D/Eレシオ	0.40	0.31	0.26	<b>0.3</b>
自己資本比率	32%	36%	35%	<b>35%</b>
一株当たり配当金 <sup>(※1)</sup> (株式分割考慮後)	13円	20円	23円	<b>24円</b>

(※1) 一株当たり配当金（株式分割考慮後）は、2024年4月1日の株式分割（10分割）を踏まえ、過年度に遡り調整（分割前配当×1/10）した金額を記載

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY24 実績	FY25 見通し	増減	FY24 実績	FY25 見通し	増減	FY24 実績	FY25 見通し	増減
(単位：億円)									
エネルギー	26,224	22,000	△4,224	18,157	18,500	+342	2,053	2,400	+346
プラント・インフラ	10,002	9,000	△1,002	8,521	8,500	△21	596	600	+3
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,305	14,000	+694	13,071	14,000	+928	493	700	+206
航空・防衛・宇宙	21,001	14,000	△7,001	10,306	13,500	+3,193	999	1,400	+400
その他及び 全社又は消去	179	0	△179	215	△500	△715	△310	△900	△589
合計	70,712	59,000	△11,712	50,271	54,000	+3,278	3,831	4,200	+368

# セグメント別業績見通し <エナジー、プラント・インフラ>

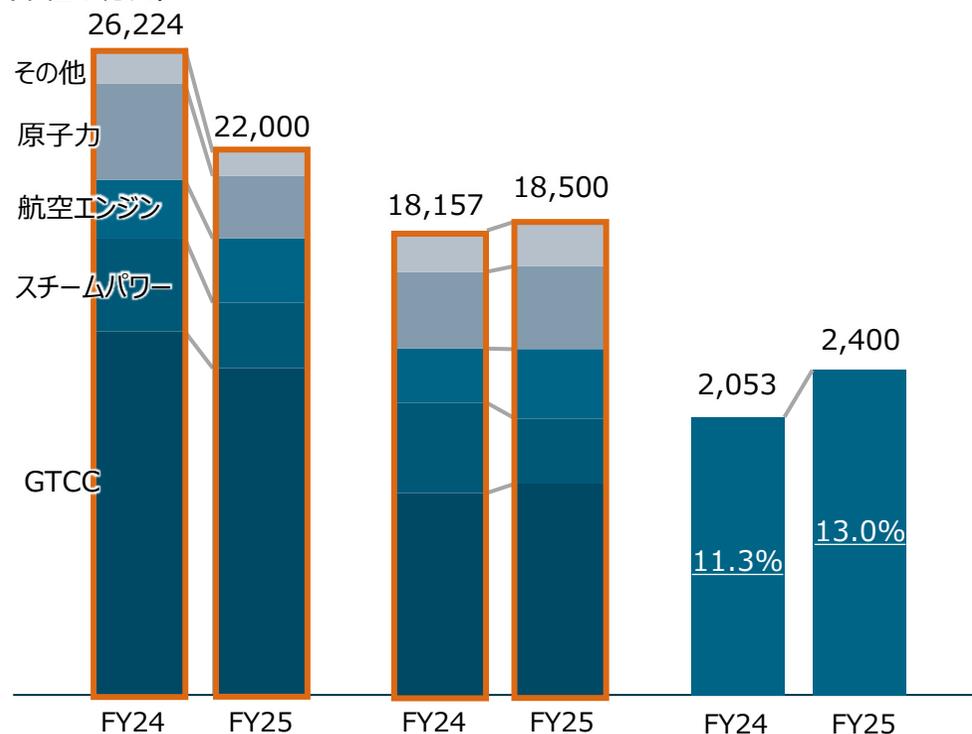
## エナジー

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



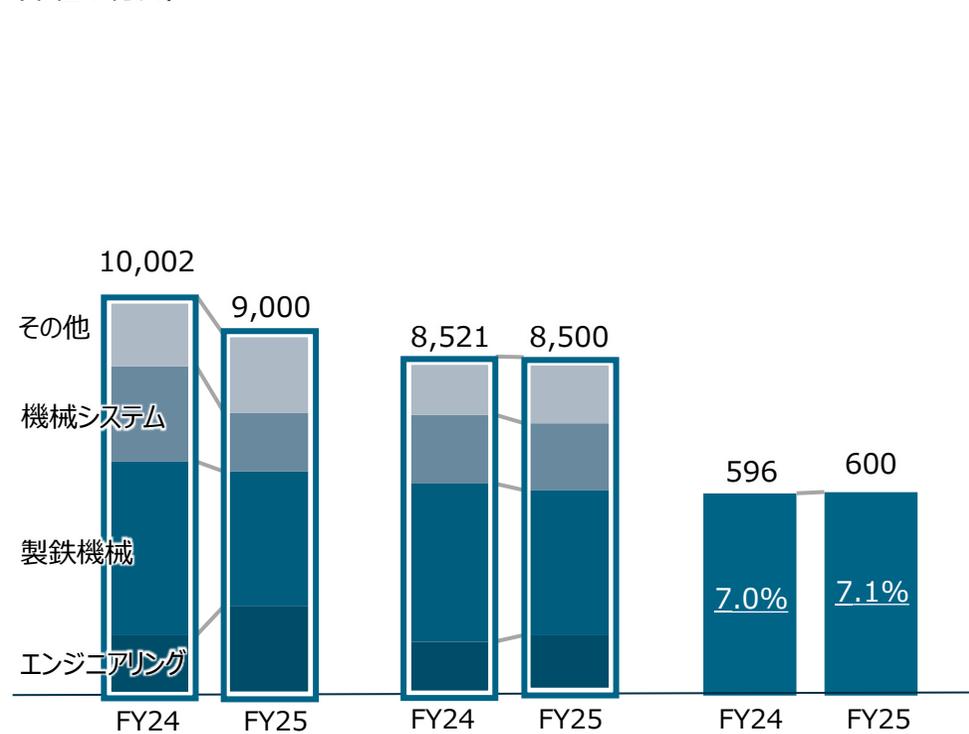
## プラント・インフラ

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



### 2025年度見通しのポイント

- 受注は、前年度より減少を見込むが、引き続き堅調
- GTCC、航空エンジン及び原子力は、好調な受注を受け増収

### 2025年度見通しのポイント

- 製鉄機械を中心に過去3年間で積み上げた受注工事を確実に遂行

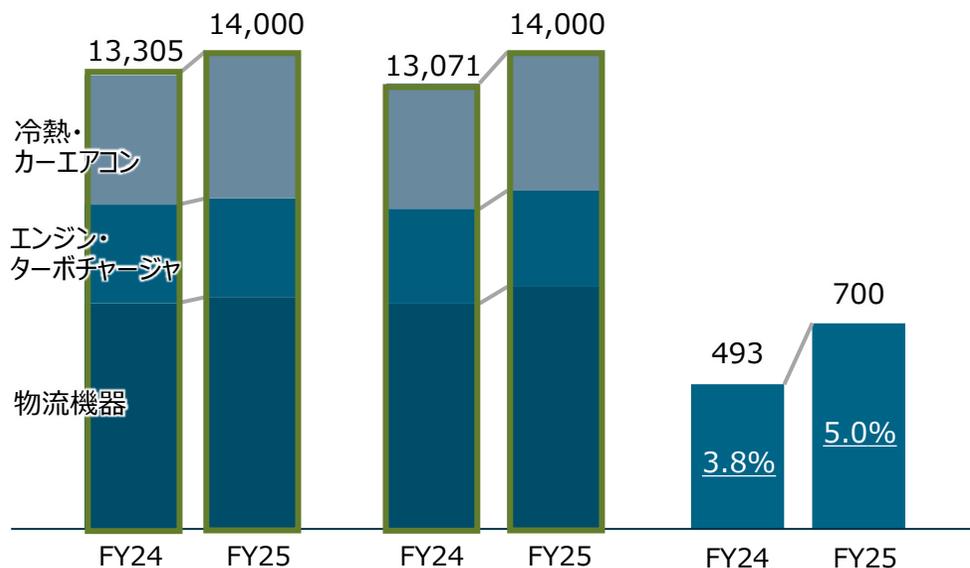
## 物流・冷熱・ドライブシステム

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



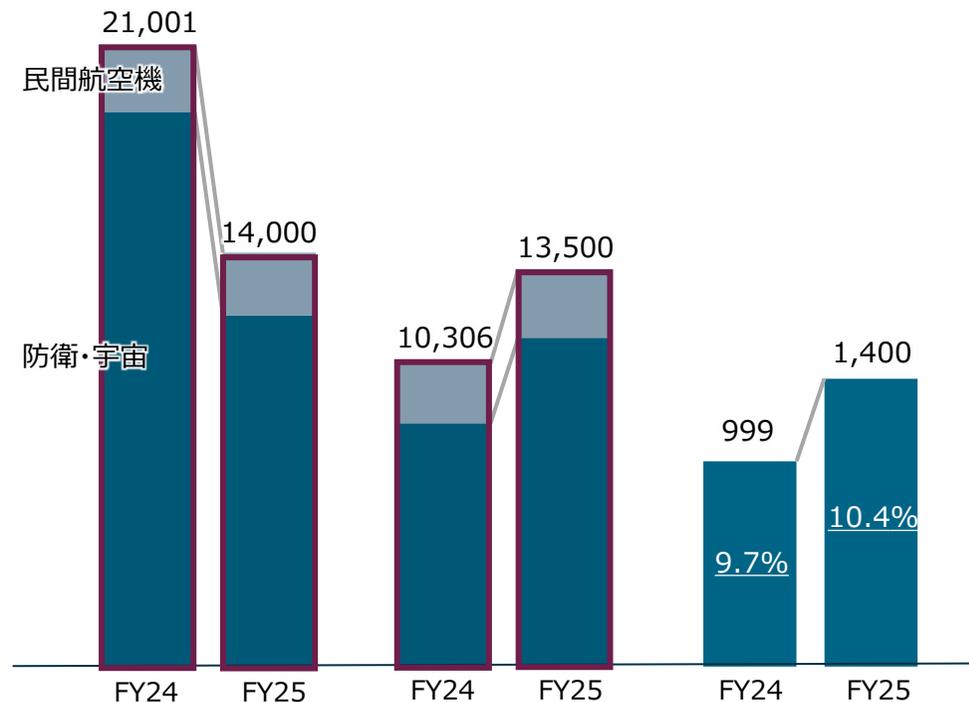
## 航空・防衛・宇宙

受注高

売上収益

事業利益

(単位：億円)



### 2025年度見通しのポイント

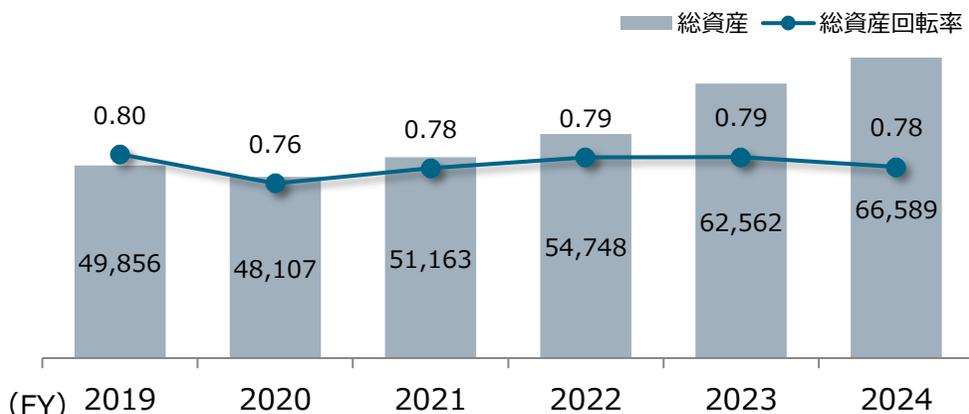
- 物流機器、冷熱は販売台数増を見込む
- ターボチャージャは前年度に生じたサプライチェーン混乱から回復

### 2025年度見通しのポイント

- 防衛・宇宙の受注は前年度対比で減少するも高水準を維持。売上は航空機・飛昇体を中心に増加
- 民間機は出荷機数の増加により増収を見込む

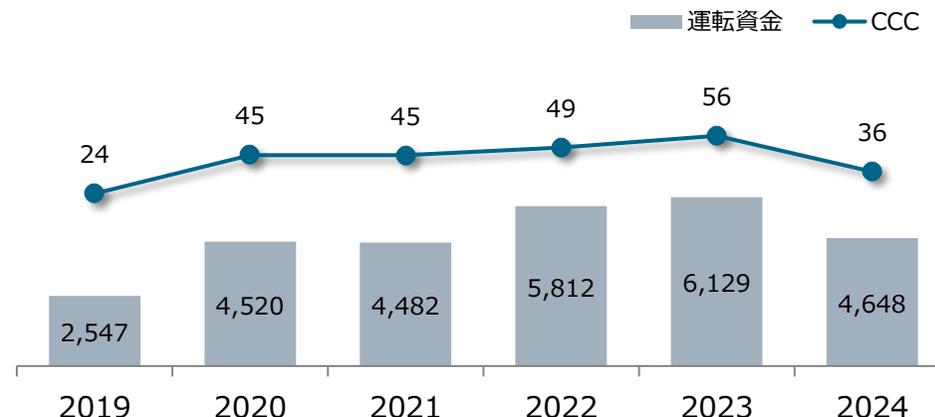
## 4. 補足資料

## 総資産 (単位：億円)



総資産回転率 = 売上収益 ÷ 総資産 (期首・期末平均)

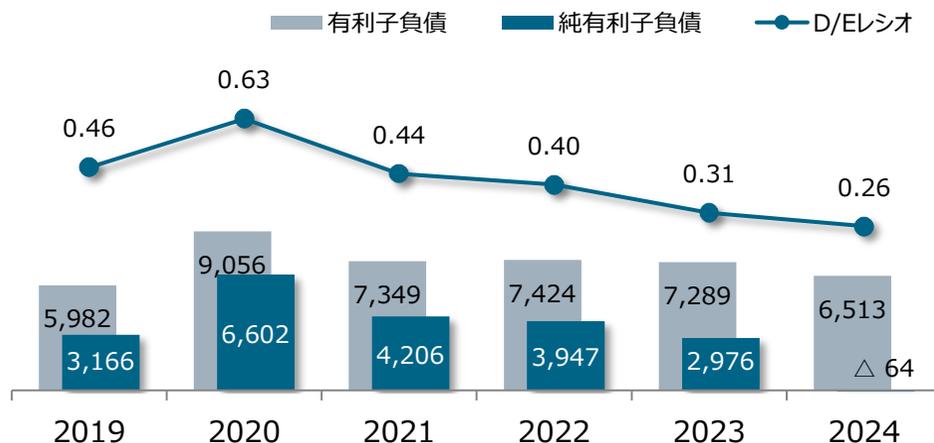
## 運転資金 (単位：億円)



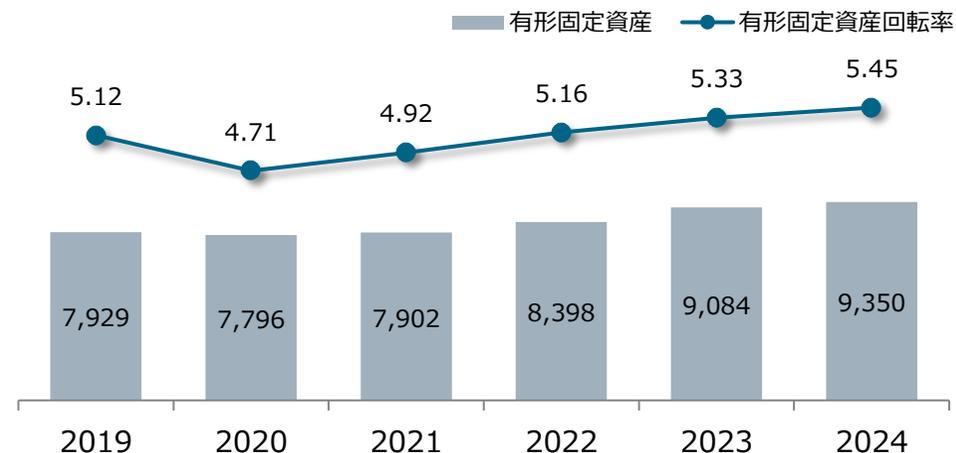
運転資金 = 売上債権 (契約資産を含む) + 棚卸資産 - 買入債務 - 契約負債 (前受金) の全社合計値

CCCはセグメントの運転資金 (前渡金を含む) と売上収益で算定

## 有利子負債 (単位：億円)



## 有形固定資産 (単位：億円)



## 大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	2023年度	2024年度
米州	7	11
アジア	9	5
EMEA	-	9
その他	1	-
<b>受注台数 合計</b>	<b>17</b>	<b>25</b>
<b>契約残台数</b>	<b>36</b>	<b>48</b>

### 【参考】中国の協業先企業における受注台数

	2023年度	2024年度
<b>受注台数</b>	<b>21</b>	<b>7</b>

## 民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度	7	11	7	5	30
2024年度	6	6	2	5	19

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度	0	1	3	2	6
2024年度	3	3	1	0	7

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度	9	7	13	14	43
2024年度	9	12	12	12	45

## 研究開発費、減価償却費、設備投資 (単位：億円)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
研究開発費	1,274	1,783	2,186	3,300
減価償却費	1,378	1,501	1,581	1,600
設備投資	1,507	2,004	1,945	2,000

## 販売費及び一般管理費 (単位：億円)

	2022年度	2023年度	2024年度
販管費	6,236	6,953	7,169

## キャッシュ・フロー (単位：億円)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
営業キャッシュ・フロー	808	3,311	5,304	-
投資キャッシュ・フロー	△455	△1,310	△1,877	-
フリー・キャッシュ・フロー	353	2,001	3,427	△2,000
財務キャッシュ・フロー	△189	△1,589	△1,141	-

## 有利子負債、D/Eレシオ

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
有利子負債残高 (単位：億円)	7,424	7,289	6,513	7,000
D/Eレシオ	0.40	0.31	0.26	0.3

受注残高	(単位：億円)	2022年度	2023年度 <sup>(※1)</sup>	2024年度
エネルギー		33,256	42,311	49,184
プラント・インフラ		15,092	16,224	17,053
物流・冷熱・ドライブシステム		548	583	793
航空・防衛・宇宙		11,718	24,742	35,145
その他及び全社又は消去		2	144	185
	合計	60,618	84,005	102,362

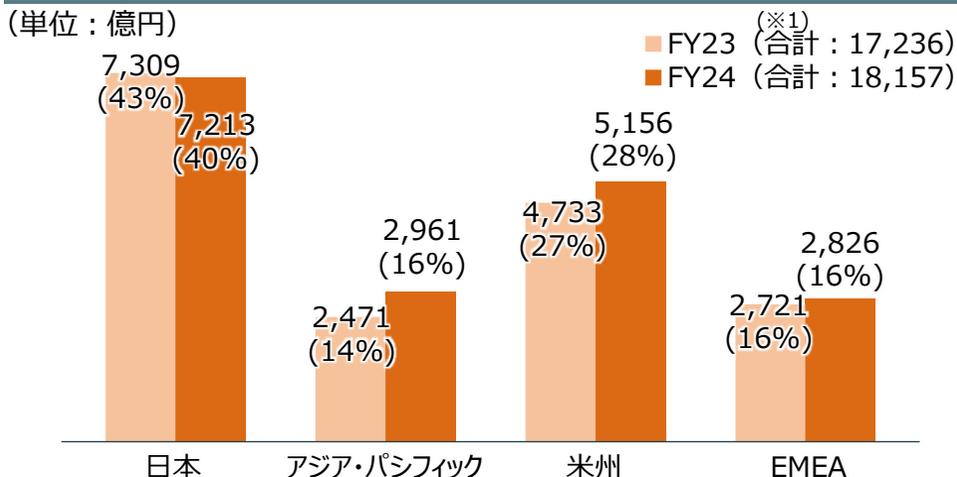
(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

為替レート (売上計上平均レート)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
USドル (円/USドル)	134.9	143.2	152.2	145.0
(参考) 期末日レート	133.5	151.4	149.5	-

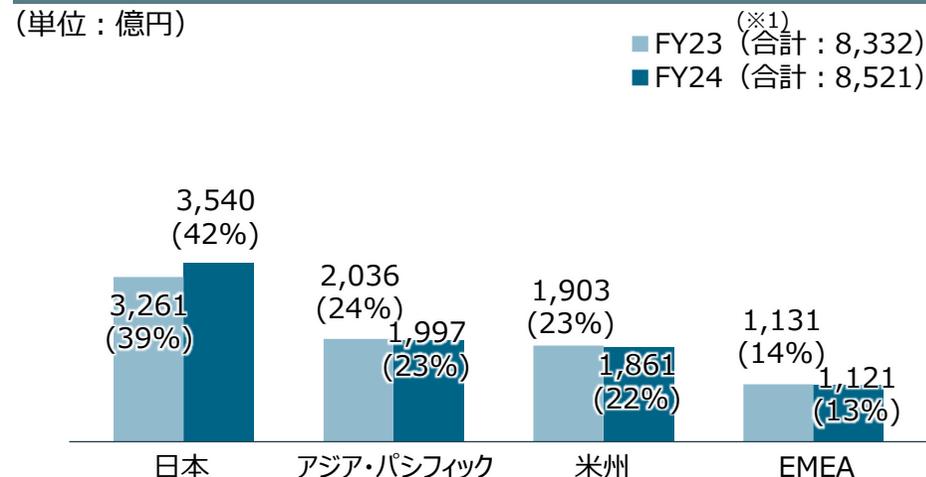
未確定外貨	(億通貨単位)	USD	EUR
未確定外貨 (事業利益)		30	4
未確定外貨 (金融収益費用)		8	1
前提為替レート		145.0	155.0

## 地域別売上高

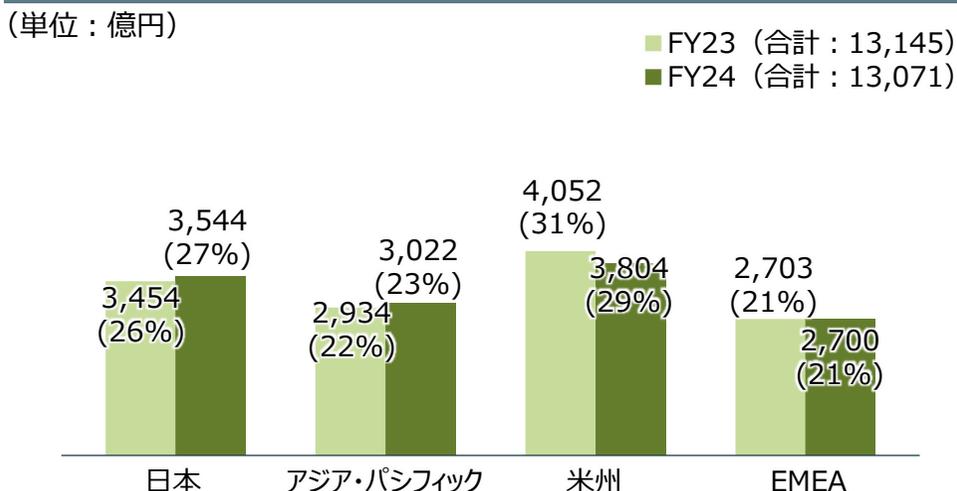
### エネルギー



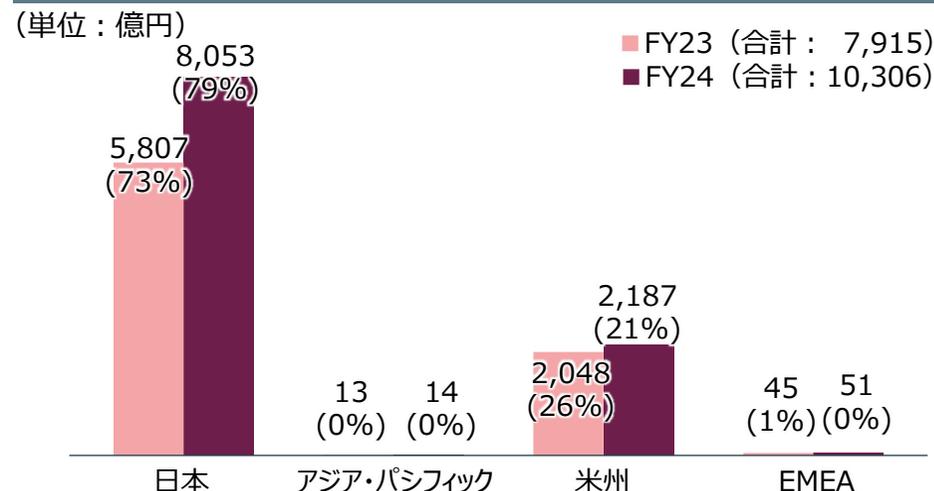
### プラント・インフラ



### 物流・冷熱・ドライブシステム



### 航空・防衛・宇宙



(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

